

就職難の今こそ新聞を読んで自分で考える力を身につけよう

- 批判的思考能力を身につけるには新聞が一番 -

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

明けましておめでとうございます。開倫塾塾長の林明夫です。今年も、また、新年から「開倫塾の時間」をお聴き頂きましてありがとうございます。この「開倫塾の時間」は社会人を含めどのようにしたら効果の上がる勉強ができるかに的を絞った番組で、本年 3 月で 24 年目に入る、日本でも、また、世界でも極めてユニークな番組です。私があちこちで勉強させて頂いたことを中心に、どのようにしたらよい勉強ができ、また、その成果を出すことができるかを、今年も皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

2. 就職難の今こそ新聞を読んで自分で考える力を身につけよう - 批判的思考能力を身につけるには新聞が一番 -

(1) 昨年の 12 月に東京都世田谷区にあります都立高校にお招きを頂きまして、それぞれ別な生徒を相手に「職業教育」というテーマで 50 分の授業を 2 つさせて頂きました。

2 クラスとも、皆様とても熱心にお話を聴いて下さり、また、質問をしてもらうために大版のポスト・イットをお渡ししましたところ、多くの方々がさまざまな感想やコメント、質問を書き下さいました。私もとても充実した時間が過ごせましたので、とても感動しました。

(2) ただ、その中で 1 つ気になったことがあります。それは、私は栃木県足利市出身ですので、足利事件を通して新聞を読むことの大切さをお話したのですが、足利事件と言っても皆さんきょとんとしているのです。もしかして足利事件を知らないのかと思いそれを尋ねると、知っているという人は 2 クラスで誰もいない。もしかして新聞を読んでいないのではと思い新聞を読んでいる人と聞くと、読んでいる人は 2 クラスで誰もいない。そのことがわかりました。

(3) 高校生も新聞を読む人が少ないと聞いていましたが、ここまで読まない人が多いのには少し驚きました。家で新聞を取っていない場合が多いので、先生は家で新聞を読むようにとはなかなか言えないようです。ならば、図書室や図書館に毎日行って新聞を読むように指導すればよいのですが、それもあまりしない先生が多いようです。その原因は何か。どうやら学校の先生も自宅で新聞を取っていない人が激増しているらしいのです。

(4)なぜ家で新聞を取らないのか。インターネットで読めるからというのが表面上の理由ですが、本当の理由は携帯電話にお金を使いすぎているのと、不況で残業代やボーナスなどが著しく減ってしまい収入が少なくなったためのようなのです。

(5)私は、不況のときこそ、新聞を毎日なめるように熱心に読んで世の中の動きを正確に知り、自分で考える力を身につけることが大事、批判的思考能力(critical thinking クリティカル・シンキング)を身につけることが大事と考えます。

3. おわりに

(1)学力が高い人は、読書により思慮深さを身につけ、新聞を丹念に読むことにより自ら考える力や批判的思考能力を身につけていると言われます。

(2)就職難の今こそ読む人が少なくなっている本や新聞をしっかり読んで、高い学力を身につけることが大事だと私は考えます。

(3)大不況の今こそ図書館を充実させ、複数の新聞を読むチャンスや本を読むチャンスを子供たちや市民に与えることが行政の使命と考えます。365日朝5時から夜12時まですべての公立図書館を開館してはじめて、大不況下に社会教育を担当して行政としての責任を果たしたことになります。どのようにしたら今と同じ経費かそれ以下の費用で365日朝5時から夜12時まで図書館を開館できるか、知恵を出し合って考えましょう。

- 2009年12月28日林明夫記 -